

テスト方針

リスクベースドテストを選択！

選択した理由

その1 重大な欠陥を早期に発見できる

その2 テスト工数を削減する必要がある場合に
削減すべきリスクの低いテストケースを判別できる

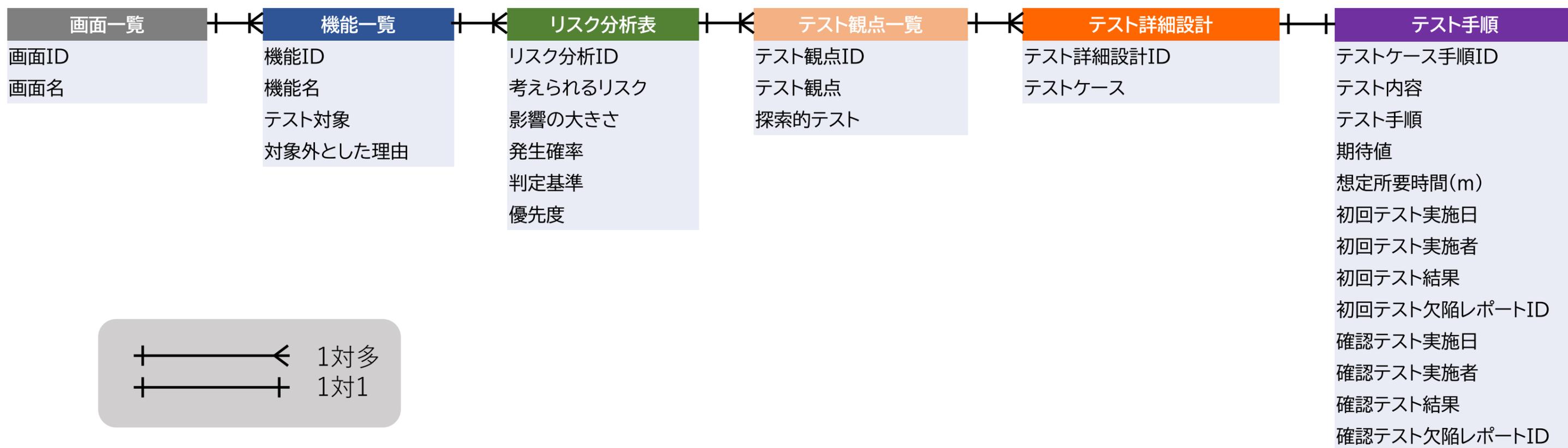
テストプロセス全体像

各工程ごとの成果物は以下の通り



トレーサビリティの確保

成果物ごとの追跡可能性を保つためにIDを付与した



テスト要求分析の流れ



テスト対象の理解

まずはテスト対象を理解するところから始まる。理解しないとテスト設計はできない。



画面の洗い出し

機能を洗い出すために、まずは画面の洗い出しを行う。



機能の洗い出し

リスクベースドテストでどのような機能をテストするのかを明確にするために必要。



リスク分析

テスト実行順番を確定させるためにリスク分析を行う。



テスト観点の洗い出し

分析したリスクに対して、テストにおいて何を確認する必要があるのかを明確にする。

テストアーキテクチャ

テスト優先度とテスト実行順

テストコンテンツ

高リスク

優先度9

通常利用時に発生する可能性があり、発生時に重大な影響を与えるもの

処理回数や処理時間が想定していたものと異なった際に発生するもの

中リスク

優先度4,6

通常利用時に発生する可能性があり、発生時に重大な影響を与えるもの

外的要因等の影響により発生する可能性があるもの

低リスク

優先度1,2,3

通常利用時に発生する可能性があり、発生時に重大な影響を与えるもの

発生時に影響が軽微なもの

テスト詳細設計

テスト観点をもとに詳細設計を作成

テスト詳細設計ID		テストケース
テスト観点ID	テスト詳細設計No	
A-150-a-20	a	「戻る」ボタンを複数回連打し遷移の挙動や画面表示の崩れを確認
B-130-b-28	b	「新規登録」ボタンを複数回連打し遷移の挙動や画面表示の崩れを確認
D-130-a-35	c	「履歴を表示する」ボタンを複数回連打し遷移の挙動や画面表示の崩れを確認
F-100-a-40	d	「日付選択」ボタンを複数回連打し遷移の挙動や画面表示の崩れを確認
F-110-c-44	e	「登録」ボタンを複数回連打し遷移の挙動や画面表示の崩れを確認
A-100-c-3	f	「iPhoneSE(第3世代)」の横画面表示にて画面表示の崩れがない確認
	g	「iPad mini(第6世代)」の横画面表示にて画面表示の崩れがない確認
A-100-g-7	h	ストレージが逼迫している「iPhoneSE(第3世代)」にてアプリが正常に動作するか確認
	i	ストレージが逼迫している「iPad mini(第6世代)」にてアプリが正常に動作するか確認
A-110-a-13	j	スワイプ操作を行い、挙動を確認
A-130-a-15	k	アプリにログイン後、アプリをバックグラウンドにしてから、フォアグラウンドに戻しログインを確認
A-130-b-16	l	充電切れ/電源を落とした状態にし、再起動時の挙動を確認
A-130-c-17	m	アプリを起動したまま1分間(iphone初期設定)触らずスリープさせ、再度アプリを起動した際の挙動を確認 アプリを起動したまま電源ボタンを押してスリープさせ、再度アプリを起動した際の挙動を確認

テストアーキテクチャで並び替えたため、この時点ですでにリスク順となっている。

テスト実装

詳細設計を元にテスト手順書を作成

テスト手順ID		テスト内容	テスト手順	期待値	想定所要時間(m)	初回テスト				確認テスト					
テスト詳細設計ID	テスト手順No					実施日	実施者	結果	欠陥レポートID	実施日	実施者	結果	欠陥レポートID		
A-150-a-20-a	1	「戻る」ボタンを連打し遷移の挙動や画面表示の崩れを確認	1.割り勘計算画面を表示する 2.「自分側の人数」に任意の値を入力する 3.「計算する」ボタンを押下する 4.計算結果表示画面が表示される	5.「結果を登録する」ボタンを押下する 6.割り勘結果登録画面が表示される 7.「戻るボタン」を連打する	割り勘計算画面が表示される	4.0									
B-130-b-28-b	2	「新規登録」ボタンを連打し遷移の挙動や画面表示の崩れを確認	1.ログイン画面を表示する 2.「新規登録」ボタンを連打する		アカウント登録ウェブサイトが1つのタブのみ開く(複数タブ開かない)										
D-130-a-35-c	3	「履歴を表示する」ボタンを連打し遷移の挙動や画面表示の崩れを確認	1.割り勘計算画面を表示する 2.「自分側の人数」に任意の値を入力する 3.「計算する」ボタンを押下する 4.計算結果が表示される 5.「結果を登録する」ボタンを連打する		割り勘結果登録画面が表示される	3.0									
F-100-a-40-d	4	「日付選択」ボタンを連打し遷移の挙動や画面表示の崩れを確認	1.割り勘計算画面を表示する 2.「自分側の人数」に任意の値を入力する 3.「計算する」ボタンを押下する 4.計算結果が表示される	5.「結果を登録する」ボタンを押下する 6.割り勘結果登録画面が表示される 7.「日付選択」ボタンを連打する	カレンダーが表示される	4.5									
F-110-c-44-e	5	「登録」ボタンを連打し遷移の挙動や画面表示の崩れを確認	1.割り勘計算画面を表示する 2.「自分側の人数」に任意の値を入力する 3.「計算する」ボタンを押下する 4.計算結果が表示される	5.「結果を登録する」ボタンを押下する 6.割り勘結果登録画面が表示される 7.「登録」ボタンを押下する	「登録が完了しました」のポップアップが表示される	4.0									

テストケースと1対1。

詳細な手順や期待結果を記載する。

まとめ

① 一貫性のある成果物の作成

⇒各資料にIDを付与することによりトレーサビリティを確保

② 再現性の確保

⇒詳細なテスト手順とその期待結果を記載

③ テスト工数の削減

⇒リスクベースドテストにより削減すべきリスクの低いテストを判別

テストの目的・目指すことを実現することができた